

特別支援教育だより

# ほほ笑み便り

NO. 2



平成 30 年 7 月 19 日  
杉並区立八成小学校  
校内委員会

## －「はちなり教室」のようす－

はちなり教室は、昨年度まで通級で使っていた北校舎 1 階にあるプレイルームを主な活動場所としています。床はゴムで運動をするにも適した部屋となっています。

決められた授業時間になると在籍学級から利用する児童がはちなり教室に来て学習をします。



授業では小集団を組んで子供同士がかわる状況を作りながら、コミュニケーションを促しています。机を囲んでの学習だけでなくプレイルームを広く使った活動もしています。

## － インクルーシブ (inclusive) －

1994 年に開かれたユネスコ国際会議において、「Education for All」(万人のための教育) がうたわれたサラマンカ声明の枠組みが採択されました。ここでいうインクルーシブ (inclusive) とは日本語に直すと「包み込み」「括る」という「包括的な」という意味になります。この理念のもと国際的にインクルーシブ教育が進み、特別な教育的ニーズがあるなしに関わらず共に学ぶ仕組み作りが試みられています。特別支援教室においても在籍学級での学習や生活をより楽しく充実したものにしていくことを目指して支援しています。

## － 中学校でも－

平成 31 年度から杉並区の全ての中学校に特別支援教室が設置されます。特別支援教室での授業は、週 1 回、1 日 1 ~ 2 時間程度を基本としていますが、指導内容や方法、時間などを保護者や在籍校と相談して決定します。一人一人がかかる困り感を理解しながら、個別学習やグループ学習、個別相談を組み合わせていきます。

(杉並区教育委員会事務局特別支援教育課「杉並区立中学校における特別支援教室」より)